



華となれ

宮城県仙台二華中学校

令和7年度学校だより 第2号

【発行日】 令和7年5月15日

【連絡先】 022-296-8104

【文責】 副校長 伊藤 進

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ」には、社会に貢献できる真のリーダー（華＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

令和7年度春季体育大会開催

4月25日（金）、仙台市陸上競技場において春季体育大会が盛大に行われました。心配された天気ですが、やや肌寒さがあつたものの降雨はなく、無事に全競技を実施することができました。

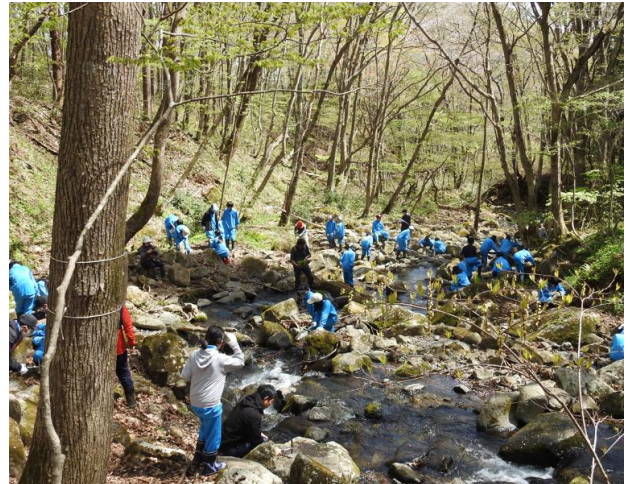
生徒たちは忙しい中、体育行事委員を中心に企画や準備など、主体的に取り組んできました。クラス一丸となって一生懸命競技に臨む姿は美しく、頼もしくも感じました。また、単に勝敗を競うだけではなく、仲間と共に一つの目標に向かって、助け合い、切磋琢磨し合いながら多くのことを学ぶことができました。それぞれの心に残る大切な思い出になったことでしょう。



- 中3生 総合1位 3C
- 中2生 総合1位 2B
- 中1生 総合1位 1A
- 部活動対抗リレー（女子）
1位 中学校陸上部
- 教職員学年対抗リレー
1位 中学校教職員

【1年生 SR春巡検】 ～ 早春の泉ヶ岳へ ～

5月1日(木)に1年生が泉ヶ岳へSR(サイエンティフィック・リサーチ)春巡検に行ってきました。オーエンス泉岳に到着後、担当の教員から指示を受け、初めての探究活動をスタートしました。午前中は年間を通して観察していく「我々の木」を1本選定し、胸高直径の計測や地表面の観察を通して春のデータ採集を行いました。午後は安山岩と玄武岩を採取し、観察を行いました。SRは、自然科学的な手法によって地球環境を探究しながら、課題解決能力と論理的思考力を育む活動です。今後、秋巡検では我々の木周辺の秋のデータ採集と化石採集を、冬巡検では冬のデータ採集と「スノーシュー」を体験しながらの自然観察を行う予定です。



【2年生 北上川FW講演会】 ～ FW(フィールドワーク)に向けて ～

5月12日(月)に東北工業大学工学部環境応用化学科教授 山田 一裕先生に来校していただき、「みやぎの音風景～北上川のヨシ原を知ろう～」と題し、SDGsと関連付けながら講義をしていただきました。

山田先生から、「ヨシを維持することによって自然環境が保全されている。つまり人の手によってヨシを中心とする生態系が維持されており、地元企業や自治体が保全に向けた努力をしている。」「様々な取組を循環させ、持続可能な自立した地域社会の構築に向けて、中学生も興味を持って体験してほしい。」などのお話をいただきました。生徒たちは今日の学びを胸に5月28日(水)、北上川FWに向かいます。



〈生徒の感想〉

○震災後のヨシ原の様子を写真で見ても、ヨシは絶妙なバランスで育っていたと感じた。それがなくなってしまうのは残念なことなので、自分でも保全活動に参加したいと思った。

○今日の講義を聴いて、ヨシの浄化力、生活資材としての活用にとっても興味を持った。北上川FWで生育の状況やそれを取り巻く自然環境を実際に見てみたいと思った。